

「小回りが利き、お客さまからの急ぎの仕事にも対応できるのが強みです」と話す魚住真穂社長。主に船舶機装品の製作を手掛けているが、機装品の種類は多岐にわたり、顧客ニーズもさまざま

ウオズミ

業を起し、地元で製造業者から溶接の仕事をお願いした。その後、鉄鋼メーカーの山陽特殊製鋼の現場作業が増え、当時の担当者から技術、品質で信頼を得るようになった。この縁が現在の業務の柱の一つ、機械加工事業の礎を築ききつかけとなった。

機動力と提案力で高みを目指す

「最初は、機械加工の知識も設備もなく外注していたのですが、コスト高になってしまい、当時社長の父が自社でやると言ったのが始まりでした」と振り返る。そこで、NC(数値制御)旋盤やマシンングセンター(MC)などの工作機械を導入し技術習得に励んだ。ただ、「工作機械の稼働が一切なく、数千円の品物を製作するに1日ばかり」の日々が続き、機械を触るのも嫌になった。

また、そんな顧客の要望に、40年余りにわたる培った技術、知識で応え、最近では「より良い製品にするための提案力も好評を頂いている」という。創業は1979(昭和54)年4月。父の豊和会が兵庫東姫路市で溶接



魚住社長 顧客満足の品質を追求する溶接技術



クレームは宝と思え、気持ち切り替え、クレームにも迅速に対応していった。その後、取引先を拡大するため、県内の中小企業を駆け巡っているかと思いつつ「話しかけよう」と誘わしめ、引続き船舶用品製造に「主催の商談会に参加。そこで、新米島橋造船と出会い取引がスタートした。

「LAGENDA S」のリードタイム短縮に貢献している。喫緊の課題は工場スペースの拡張。「長尺物や重量物などの仕事があったら、現場のスペースでは対応できない。また、物量が多い案件で、納期などをお客さまに迷惑をおかけすることもあり、いま造船所からの仕事があるうちに何とかしたい」と話し、この2、3年の新工場建設を目指している。同時に、人材確保や設備増強も見据え、造船業以外の受注拡大にも意欲的だ。

「匠かんさい」は、関西の海軍関連産業のサービスマン、製品・技術などを紹介する企画です。掲載希望の企業は情報をメール(kansai@jmd.co.jp)でお寄せください。

「LAGENDA S」のリードタイム短縮に貢献している。喫緊の課題は工場スペースの拡張。「長尺物や重量物などの仕事があったら、現場のスペースでは対応できない。また、物量が多い案件で、納期などをお客さまに迷惑をおかけすることもあり、いま造船所からの仕事があるうちに何とかしたい」と話し、この2、3年の新工場建設を目指している。同時に、人材確保や設備増強も見据え、造船業以外の受注拡大にも意欲的だ。

創業=1979年4月▷本社=兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南1-33▷電話=079・246・1011▷代表取締役社長=魚住真穂▷資本金=300万円▷主要業務=製缶・溶接加工品製作、精密機械加工(旋盤加工・マシンングセンター加工)、現場溶接工事など